



辻川だより

第10号 [2009 夏号] 平成21年7月4日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujukawa/>

兵庫県の木「クスノキ(楠)」

関西の暖地に多い常緑高木で、排気ガスやばい煙に対し強い抵抗力を持つ。防虫・防臭剤である樟脳(しょうのう)の原料。昭和41年7月27日に県の木と決まった。



辻川界隈展へのお誘い

区長 釜坂道弘

今年も夏がやって来ました。

辻川区では、例年多くの方に協力をいただき「辻川界隈展」と「民俗学のタベ」を開催しています。この行事は「辻川らしさ」が際立つて目につく行事です。

今年も例年にも増して多くの協力者を得て開催の準備をしています。界隈展の初日には辻川商工会創立35周年記念事業に加え、福崎町商工会による「銀の馬車道リレーイベント」を当辻川区において開催いただくこととなり、ウォークラリーを計画してもらっています。このウォークラリーにはラジオ関西の谷五郎氏も参加いただくことになりました。また、当日は姫路ケーブルテレビの取材も予定されています。「民俗学のタベ」では毎年好評の猿回しの準備も出来ました。是非、ご家族揃っての参加をお待ちしています。

協議委員会が今

4～6月の協議委員会での報告・検討内容を一部紹介します。

- ① 公民館改修・下水道接続工事着手に向けて動き出す。
- ② 当面の行事関係打合せ
- ③ 登記所跡の樹木伐採について ↓ 辻川区として北側の楠1本は大きく剪定する形で残すように町に要望(結果は上の写真参照)
- ④ 人権・青少年健全育成懇談会 ↓ 実施日未定
- ⑤ 交通安全教室(今年度は辻川がモデル地区に指定) ↓ 秋の交通安全週間に実施予定
- ⑥ 1隣保の故松岡鈴子様住宅跡地(町が地権者から15年間無償借用予定)利用について
- ⑦ 旧三木家住宅の修理計画 ↓ 平成22年度から10～12年計画で実施予定
- ⑧ 今年度の「敬老の日の催事」は諸般の事情により、昨年と同じく西脇健康ランドへ。日程は9月13日(日)で調整中。多数ご参加ください。
- ⑨ 登記所跡地南(「上坂」突き当り)の元防火水槽跡地のツゲの植え込み撤去。町の了解を得て③の伐採に合わせて撤去決定(下図)。

《当面の予定》

7/26～8/2 辻川界隈展

文芸作品展・隣保七夕飾り他

■26日(日)には辻川商工会創立35周年を記念して、界隈展オープニングとして、公民館前の新装なった大看板披露や「銀の馬車道リレーイベント」(公民館前スタート) ↓ 大庄屋三木家ゴールのウォークラリーなどが開催されます。ラジオ関西パーソナリティの谷五郎さんと一緒に歩いてみませんか。宝探し、もちむぎ素麺・梅ジューズ、講演会等が待っています。早朝の七夕飾りつけの後は8時30分に公民館集合です。

8/1(土) 民俗学のタベ

午後9:00～夜店(6団体予定)

9:30 開会の挨拶など

6:45 吹奏楽演奏

7:00 人形劇 7:25 太鼓と獅子舞

7:45 猿回し(小猿) 8:00 笛

8:00 猿回し(大猿)

8:30 餅つきばやし

8:50 辻川鬼太鼓(餅まき)

9:20 閉会

「文化担当(金井)」

8/2 午前8時

クリーン作戦

8月中旬 自治会

対抗親善ソフトボール大会

9月 隣保長・各種

団体会議

祭礼行事のお知らせ

◇ 7月12日(日) 夏えびす

10時に神主様お祓(ほろい)

◇ 7月19日(日) 夏まつり

9時30分に神主様お祓い

(井ノ口の役員さんも参列)

皆様お誘い合わせの上、多数

お詣りください。

「9 隣保 福永」

事業報告

◆ 4月29日(祝)

「民俗 辻川広場まつり」(福崎町・福崎町教育委員会主催)が「ゴールテンウィーク」開幕を飾るにぎわいを見せました。辻川区も共催団体として、景気づけの「ボン菓子屋」と「ジューズ・ラムネ・力キ氷屋」で出店参加。協議委員・商工会を中心に岡本さんの全面的協力を得、300袋のボン菓子を完売しました。晴天にも恵まれ力キ氷も大人気。毎度おおき。



6月10日

「文化担当(金井)」
8/2 午前8時
クリーン作戦
8月中旬 自治会
対抗親善ソフトボール大会
9月 隣保長・各種
団体会議



◆5月10日(日) 溝普請



協議委員は雲津川に挑む



◆6月下旬 フラワーポツト植替 町花サルビアを区内4箇所に(登記所跡地南の新しい花壇にも)

◆公民館改修工事の記録

*工事内容: 下水切替工事とそれに伴う1階倉庫・2階トイレのリニューアル工事等
*現場説明会: 5月9日
*見積徴収: 5月20日
*見積請負: 尾上組に決定
*工事期間: 6月6日~24日

田原校区子供会 球技大会

6月7日(日)

▽ソフトボール(男子)4位
対田尻O ↓ 対長目・八反田
● ↓ 3位決定戦: 対中島
▽バレーボール(女子)2位
決勝で惜しくも古田に敗れるも見事準優勝に輝く。7月1・2日の町大会へ。

一步及ばず、残念

兵庫の花「ノジギク」

姫路市大塩地区に多く群生する野性の菊で、一見平凡だが実は珍しい。昭和29年、NHKが郷土の花を選んだときに県の花に選ばれた。



6月14日

4月、法務局登記所跡のグランドコートフ場脇にのじぎくの苗が植えられた。

のじぎくの生長楽しみ



6月21日



2Fトイレ洋便器

大降雷(ひょう)の惨害、日本一
昭和初期の田原には日本一の記録がある。1933(昭和8)年6月14日、田原村は雷と突風(被害が雷雨を伴った旋風で全壊家屋が狭長な線状分布をしていることから竜巻と推測される)によって甚大な被害を被った。翌日の神戸新聞は「田原村方面、西野、辻川方面の全壊家屋約25戸、半壊約200戸、死者3名・・・」と伝えた。気象学者の宮澤清治さんによると、気象庁に残されている記録では日本一の雷害だそうである。ちなみに、その時折れた松の残骸が八反田の八坂神社に残されている。
当時の記録では、この雷害をもたらした雷雨は午後4時~6時にかけて播州より摂津へ東進(寒冷前線通過)し、特に播州中部に激しい暴風と降雷を起こした。風速は50m/s以上、雷の直径は3~3.5cm、死傷者174名(神戸新聞では三百余名)となっている。現福崎町では田原の被害が最も著しく、神戸新聞は「田原村煙草乾燥工場三棟、辻川 鈴木藤太郎方:全壊、また同村吉田区三十八社明神本殿は倒壊し:」とも報じている。

ちよっと一服

秋祭りに向けて

5月2日、青年団からの要望を受け屋台保存委員会が招集され、乗子の法被(はっぴ)を新調する件について話し合った。この件については1月の総会で青年団から希望が出されていたもので、辻川では始めてのオーダーメイドの乗子法被になる。予算40万円で購入を含め30着を了承した(区長決裁)。青年団としては3年計画で祭り花代の一部を製作費に充当する予定。その後6月12日に青年団から図案が提案され、検討した。鮮やかな黄緑地に赤鯉の滝登り、練り子の法被に調和したデザインになっている。10月10日(土)宵宮でのお披露目を楽しみに。

新協議委員・各種団体新役員の抱負

協議委員

松田耕二:人にやさしく、思いやりの心を持ち、お互いに協力しながら、住みやすい辻川区になればと思っています。
松岡博子:この度の協議委員改選で突然浅学非才の私が選ばれ、困惑し辞退の術もないまま半年が過ぎてしまいました。皆様の足手まといになると思いますが、選ばれた以上は健康に留意し、二年間の任期を全うしたいと思えます。皆様のご協力とお力添えを宜しくお願いいたします。
金井年郎:村入りをさせて頂いてから28年程になります。この間、辻川区の皆様のお世話ばかりになって来ましたが、今度協議委員として少しでも役に立てればと思っております。どうかよろしくお願います。
高井紳一:辻川区の自治運営に協議員として精一杯頑張りたいと思いますのでご支援・ご協力方よろしくお願います。
古井徹夫(商工部会長):辻川商工部会が発足して35年。昔のような元気のある辻川商店

街に少しでも戻すためには地元の皆様の協力が必要です。どうかよろしくお願います。(注 古井さんは昨年5月に就任紹介が遅れていました。)
駒田仁(消防団長):辻川分団2名、今年も消防団員として初心に帰り「自分達の町は自分達で守る」という使命も一致団結して頑張ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。
村井宏行(青年団長):毎年目標としている「全ての宮入・宮出を落とさない」辻川らしい練り方をしたいと意気込んでいます。「ご協力をお願いします。」
編集後記
次号から鈴の森神社の玉垣(みる昔の辻川の賑わい)を集めてきればと考えています。
ところで、兵庫県の「木」「花」とくれば次は「鳥」ですね・・・何でしょうか? そう、「コウノトリ」です。「コウノトリ」は皆さんもご存知のように国の特別天然記念物で、豊岡市で最近やっと自然繁殖が復活しました。分類はサギ類。姿も色も鶴に似た鳥で、昭和40年5月に県の鳥に決まりました。花札の鶴は実は「コウノトリ」・確かに松上に鶴はおかしいですよね「田崎」。